

三鷹市 校内通級の紹介

おおさわ学園三鷹市立羽沢小学校 せせらぎ教室
主任教諭 長田 春美

校内通級の対象児童

- ・通常の学級に在籍している児童
- ・知的障害がなく、自閉症、情緒障害、学習障害、
注意欠陥多動性障害がある児童
- ・通常の学級での学習におおむね参加でき、一部、
特別な指導を必要とする児童

校内通級のシステム

- ・週に1H～4H程度、在籍学級の授業を抜けて指導を受けに行く。
(お子さんの課題や実態に応じた指導時間を設定する)
 - ・拠点校から校内通級教員が巡回し、指導を行うため、在籍校で指導を受けられる。
 - ・学級担任と校内通級教員が連携・情報を共有しながら指導を行う。
- ※利用に当たっては校内委員会、市の審査会により指導が必要と総合的に判断した上で、校内通級の利用開始となります。

校内通級教室（情緒障がい）小学校

学園	校内通級教室 巡回校	校内通級教室 拠点校
連雀学園	第四小学校 第六小学校	むつみ教室 （南浦小学校）
三鷹の森学園	高山小学校	つばさ教室 （第五小学校）
鷹南学園	東台小	むらさき教室 （中原小学校）
東三鷹学園	第一小学校	けやき教室 （北野小学校）
三鷹中央学園	第三小学校	ポプラ教室 （第七小学校）
にしみたか学園	井口小学校	さくら木教室 （第二小学校）
おおさわ学園	大沢台小学校	せせらぎ教室 （羽沢小学校）

こんな困り感や課題があるお子さんが利用しています。

- ・先生や友だちの話に興味がなく聞いていない。
- ・集中が続かなくて聞いていない。
- ・分からないことや困っていることを上手く伝えられない。

話をちゃんと聞いて!って
言われるけれど、つい違
うこと考えちゃうよ。



何て聞いていいのか
分からないな。



おもわずおしゃべり
してしまう。



こんな困り感や課題があるお子さんが利用しています。

- ・落ち着きがなく、じっと座ってられない。
- ・刺激につられやすい。
- ・勝ち負け等、思い通りにいかないと気持ちのコントロールが難しい。
- ・状況を読み違える。

いつもちゃんと座って!って言われる。体がムズムズするんだよなあ。



僕が1番になりたい!僕に勝った〇〇ちゃんを許さない!。



どうしてもゆずれない。



こんな困り感や課題があるお子さんが利用しています。

- ・体を動かすことが苦手。
- ・字を読んだり考えたりすることが苦手。



たくさんとべるよう
になりたい。



さかあがりか
こわい。



どこから
計算していいか
わからない。



なんて
読めばいいのかな。

指導内容

- ・小集団指導と個別指導を併用
- ・集団参加の基礎や行動のコントロールの仕方、友だちとの適切な関わり方（コミュニケーション）などの「社会性指導」
- ・感覚統合の考えに基づいた運動・動作の指導
- ・その子に合った学び方、覚え方のコツを見つける指導
※学習の補充をする場所ではありません。
- ・高学年になると、流動的なコミュニケーションへの対応法や自己理解

校内通級の目的

- ・発達障害等のある児童・生徒が学習上
又は生活上の困難を改善・克服する

➡**将来的な自立**に向けての基礎

- ・**在籍学級の適応** を目指すところです。

指導の流れ

小集団指導(1)、
個別指導(1)の
2時間を基本とします。

1 始まりの会

- ①出欠・日付・天気・日直の確認
- ②今日のめあて
- ③学習予定の確認
- ④スピーチ

2 セセらぎの時間 <小集団指導>

ソーシャルスキルトレーニング、運動、
コミュニケーションスキルトレーニング、制作活動 等

3 個別指導

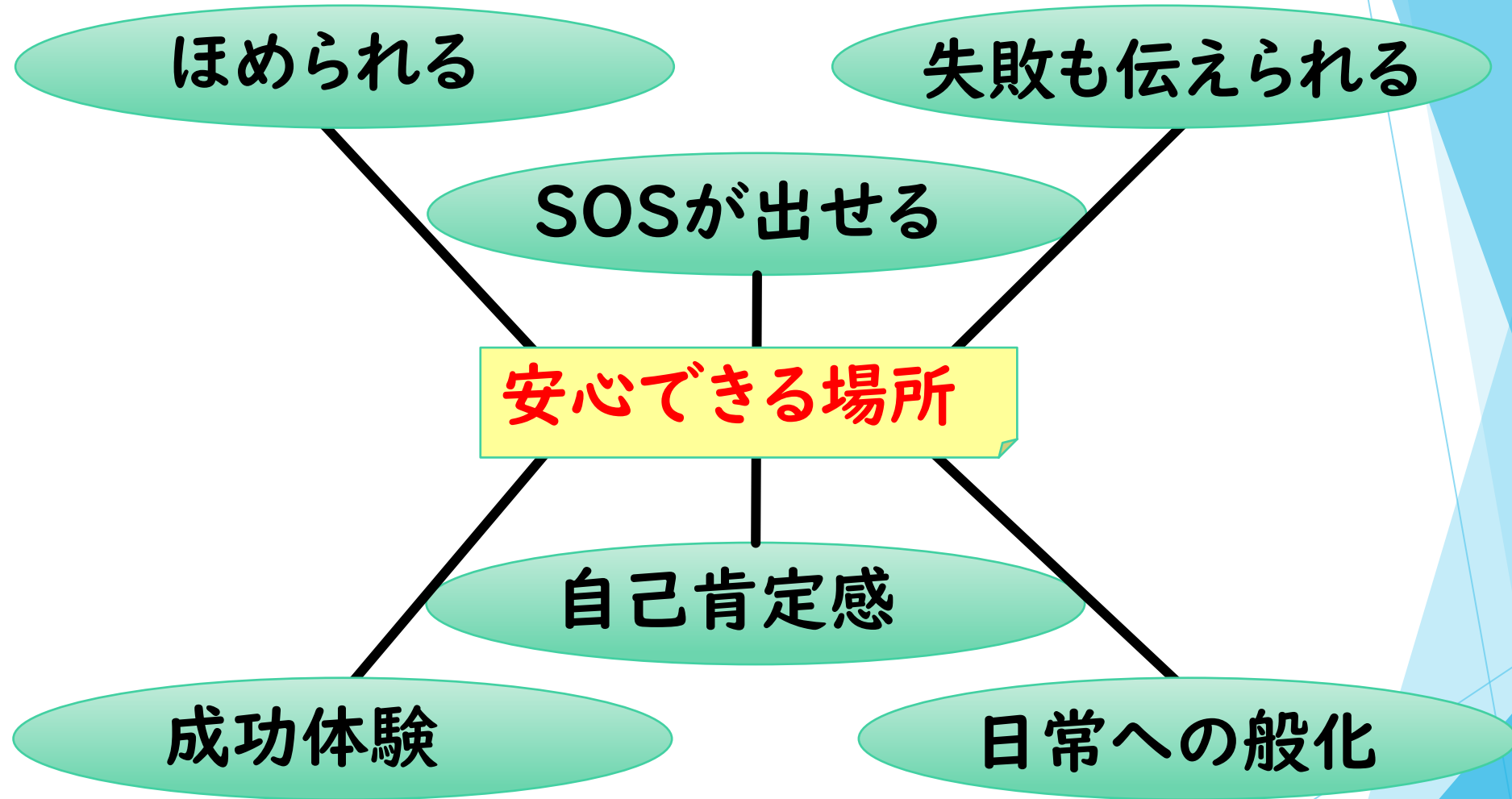
- ・個々の課題に合わせた学習
- ・活動の振り返り

通級教室に来て指導を受けます。

2時間通級の場合(例)

1時間目	国語
2時間目	算数
中休み	
3時間目	グループ 個別学習
4時間目	
昼休み	
5時間目	音楽

授業で大切にしていること



小集団指導

SST、CST、制作活動

～集団の中でスムーズにコミュニケーションがとれるように～

順番の話し合い

「〇番でもいいですか?」「いいですよ。」「

ゲーム

勝敗の受け入れ、順番を守る、待つ練習

感 覚

聴覚、触覚、嗅覚など

気持ち（感情）

こんなときどうする？

ロールプレイ、話し掛け方、相手の気持ちを考える

イライラしたら気持ちを切り替えよう

- ・「まあいいか。」と言おう。
- ・「悔しい。」と言おう。
- ・スクイズボールを握ろう。
- ・水を飲もう。
- ・「次頑張ろう。」と言おう。

始まりの会

通級での活動に見通しをもてるように支援しています。

○司会・号令(日直):司会原稿を用いて型として示す。

○めあてと一日の流れを黒板で提示(担任)

○スピーチ:スピーチメモの活用、話型、質問、応答の仕方

始まりの会の司会・スピーチ



【目・耳】



しゃべっている人を見て聞こう。

【口】



手を挙げて あてられたら しゃべろう。

【手足】ピン・ピタ



上履きを履いて足をピタッと床につけよう。
腰をピンと立てよう。

【心】



まちがえても、もう1度、挑戦しよう。
あてられなくても 怒らない。

児童の様子

○体幹運動「ポーズでストップ」



腕やお腹に力を入れよう！



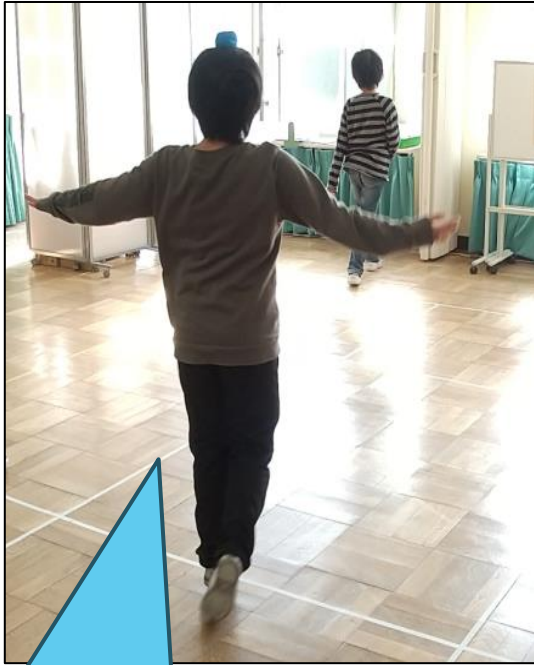
○体幹運動「バランスボール」



手足の動きや姿勢などしっかり見て真似して動こう。

児童の様子 「助けてレスキュー」～援助要請～

めあて「友達に助けを求めよう」「助けてもらったら、ありがとうと言おう」



玉を乗せて歩くのは結構難しい...

「ありがとう」と言われると嬉しい!



〇〇くん「助けて!」

助けてくれてありがとう!

どの子も自分らしく、安心して学校生活が
過ごせるようサポートしていきます。



校内通級の利用をご検討されていらっしゃる方は、入学される学校に
ご相談下さい。